

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・家庭、地域、関係機関などとの連携を密にしながら、児童一人一人に細やかに対応することができた。 ・数多くの地域との関わりを継続し、さらに地域のために行動できる人材の育成に努めたい。 ・児童が夢や目標を具体的にイメージできるような活動を設定することで、意識の向上につなげていきたい。
2 学校教育目標	ふるさと“若木”を愛するたくましい若木っ子の育成 ～みんなつくる。みんなで伸びる。～
3 本年度の重点目標	【学習面】主体的・対話的で深い学びの推進。体験学習を通してふるさとのよさを感じ取らせる教育の推進。夢や目標をもって自分の成長に気付く児童の育成。食や健康の大切さを感じ取らせる教育の推進。 【生活面】いじめ・不登校の早期発見、早期対応、未然防止。互いの良さを認め合い、自己肯定感を高める児童の育成。思いやり、感謝の気持ちを育む児童の育成。生活習慣の見直しと徹底。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○自ら考え・選び、決め、主体的に行動する自立した学びを育む授業の実践 ○自分の考えをわかりやすく伝え、協働的な学びを深める授業の実践	○学校評価アンケートによる自己評価で、「児童一人一人がじっくりと考える時間と、友達同士で教え合ったり意見を交換する時間を確保している」の教師と「自分で考え、考えをわかりやすく伝えることができる」児童の達成率が90%以上	・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図る授業の充実を行う。 ・主体的な学習を育む校内研究の充実を行う。		・		・		・	【わかる部会】 学力向上コーディネーター 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童と保護者の学校評価アンケートの心の教育に関する評価において肯定的な評価が90%以上	・平和学習週間や人権集会、ふれあい道德などの児童の豊かな心を育む教育活動を計画的に行う。 ・ボランティア活動などの奉仕活動を計画的に行う。		・		・		・	【かんしゃ部会】 道德教育推進教員 人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○職員や保護者の学校評価アンケートのいじめ防止のなどの項目について肯定的な意見が90%以上	・心のアンケート等を年2回実施し、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ・児童連絡会やケース会議を定期的に行い、職員で共通理解、共通実践を行い常に組織的な対応を行う。		・		・		・	【かんしゃ部会】 道德教育推進教員 人権・同和教育担当 教育相談担当
	●◎児童生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒85%以上 ●◎「将来の夢や目標をもち、意欲的に取り組んでいる」について肯定的な回答をした児童80%以上	・学級活動や委員会活動、クラブ活動を計画的に行い、児童の自主性を育むとともに、日常的に児童を褒める機会を設ける。 ・異学年交流を行い、児童の豊かな人間関係を育む。 ・キャリアパスポートを活用し、自分について考えさせる機会を設ける。		・		・		・	【かんしゃ部会】 研究主任 特別活動担当 委員会活動担当 クラブ活動担当
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成 ●健康を考えて行動できる能力の育成	●家庭と連携して「早寝、早起き、朝ご飯」を徹底し、よりよい生活リズムが定着している児童90%以上 ●「健康は何より大切だ」「保健等で学習したことを、自分の生活に活かしている」と答えた児童生徒85%以上	・よりよい生活リズムの定着に向けて、食に関する指導や保健指導を児童に行い、また便り等で家庭への啓発を行う。 ・養護教諭等と連携しながら、学級指導、保健学習の充実を図る。		・		・		・	【きたえる部会】 体育主任 保健主事 給食主任 学校栄養職員
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○教職員一人一人の働き方改革に関する意識改革	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○アンケートで「在校時間で教育目標が達成する成果ができた」と回答する職員が85%以上	・勤務時間内で対応できる業務改善を図る。 ・年次休暇が取りやすい雰囲気づくりや支援体制づくりを行う。 ・時間管理マネジメント力向上の研修等を行い、人事評価等取組を適正に評価する。		・		・		・	管理職
●特別支援教育の充実	○支援を要する児童を含む全ての児童一人ひとりを大切にされた教育活動の実施	○特別支援教育に関する研修を受けた教員が100%以上 ○児童連絡会を週1回以上行う。	・ケース会議を定期的に行い、職員で共通理解をし、必要に応じて組織的に対応する。 ・職員だけでなく、福祉とつながり、組織的に対応する。		・		・		・	【かんしゃ部会】 特別支援教育担当
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○郷土愛を育む教育の充実	○地域の良さを学び、地域を愛する児童の育成	○アンケートで「ふるさと若木の良さを感じている」について肯定的な回答90%以上 ○教育効果を高める地域との連携	・定期的な学校だよりや学級通信等を活用して、情報発信を積極的に実施する。 ・町民小学校合同運動会や創立150周年記念事業等に向け、学校と育友会、地域が連携を密にしながら郷土愛を育む。		・		・		・	管理職 教務

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------